



黄と緑

2020年冬号 (No. 111 / 1月19日発行)

ボーイスカウト東京大田第6団

(東京都大田区田園調布 3-43-1 カトリック田園調布教会内)

URL <http://www.bst-ohta6.org>

新たな年にあたって

団委員長 木村 高弘

お正月が来て、新しい年となりました。

昨年から日本の年号が変わり令和二年、そして西暦では2020年となりました。

2020年と言えば、真っ先に多くの皆さんの頭に浮かぶのは、おそらく東京オリンピックとパラリンピックのことでしょう。四年に一度開かれる、スポーツの最大の大会と言っても過言ではないでしょう。古代のオリンピックは、紀元前9世紀ころからギリシア人だけで、1000年以上続けられていたというから驚きです。

近代オリンピックは、1896年から始まりました。

今回の東京オリンピックは124年目、32回目となります。古代オリンピックに比べれば短いですが、やはり世界的な戦争をも挟み地球規模で続いているということはとても素晴らしいことだと思います。

東京オリンピックは、二度目になります。前回は1964年に開かれました。それまで無かった新幹線が開通し、たくさんの競技場が出来、首都高速もモノレールも完成しました。日本の新しい歴史が作られたとき、そんな感じでした。

前回のオリンピック期間中、わたしたちボーイスカウト（高校生中心）は毎日各競技場へ行き、各国の国旗の掲揚・降納、そして会場の警備を奉仕活動として行いました。実際の競技も、少しですが見ることもできました。警察の人たちは、世界各国から来た各国要人の警備と交通整理で手いっぱい状態でした。そのころは、ガードマンという職業はなかったのです。

外国の人たちとの片言（身振り手振り？）での会話や案内、そして記念にといただいたピンバッジ等、スカウト仲間と一緒にとても良い思い出です。

スカウト活動での、つらかった山登り、長かったキャンプやジャンボリー、雪洞で過ごした春山、寒かったオーバーナイトハイク、縛材で作った信号塔、そしてオリンピック。

学校が違って、住んでいるところが少し離れていても、考え方が少し違っていても、そして時には喧嘩をしても、長い間のスカウト活動で小さい時から一緒に過ごした仲間とのそうした共通の思い出がわたしたちにとっては大切な宝物です。

今でも、毎年行う『OBキャンプ』ではそうした思い出話でいっぱいです。その時のスカウト仲間の顔や会話が浮かび、笑いながら話し合うことがとても幸せです。それは、ボーイスカウト活動が『ちかいとおきて』を中心とした自分自身での活動でもあり、同じ思いの仲間との活動でもあるからです。

昨年カブスカウトたちが奉仕してくれた『令和天皇即位祝賀パレード』などは、参加したスカウトには、一生忘れられないものとなるでしょう。スカウト活動を長く続けていれば、こうした忘れられない出来事を仲間と一緒に体験することが出来るはずです。

日本のボーイスカウトも、オリンピックよりは短いですが100年の歴史を越えました。今年、わたしたち大田6団が、日本連盟に登録されてから70年目の節目の年になります。60周年の時のように『沖縄でキャンプ』というわけにはいきませんが、団でのキャンプも計画しています。

これからも、わたしたち大田6団の仲間がより多く増え、楽しい思い出の歴史を作り続けていく場にしていきたいと思います。

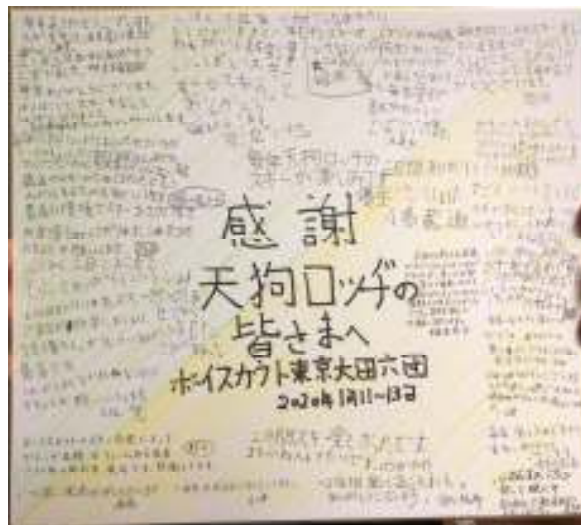
* * *

スキーキャンプ より

日 程：2020年1月11日～13日 菅平高原スキー場

参加者：27名（スカウト20名、リーダー6名、保護者1名）





2019 年を振り返りつつ、新年の抱負など

ビーバー隊 田中孝雄

新年あけましておめでとうございます。

今年も明るく、楽しく、元気よいビーバー隊活動を進めてまいりたいと思います。

スカウト諸君、保護者の皆様、リーダーの皆様、そして団委員の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます

去年は、1月20日の「もちつき大会」に始まり、2月「つばさ地区こども交歓会」（洗足池公園）、3月「やきいも大会」、4月「団ハイク・横須賀市荒崎公園」、復活祭、5月には田園都市線・宮崎台「電車とバスの博物館」に行きました。6月は「つばさ地区ビーバー大集会」（五反田）に参加しました。

もちつき大会では杵を振り下ろしもちつき体験、もちろん、つきたての美味しいおもちをいっぱい食べました。つばさ地区こども交歓会では、他団のスカウト、地区の子供会のお友達とゲームをし、新しいお友達もつくりましたね。私は、他団のスカウトから「おじいさん」と呼ばれて大変ショックを受けました。恒例となったやきいも大会、カブ隊のお兄さんたちとデン作りもしました。団ハイク、お兄さんスカウトと一緒に海辺を歩き、たどり着いた荒崎公園、広がる海の青さは疲れを癒し、お弁当がとっても美味しかったですね。復活祭ではイースターエッグ作りと「エッグハンティング」、ルルドのまわりでたまごを夢中になって探しました。電車とバスの博物館では、「運転手」を体験しました。つばさ地区ビーバー大集会で一番楽しかったのは、ポーンと打ちあがった「バブロケット」でしょうか、それともネバネバドロリの「スライムづくり」でしょうか。いろいろな体験、工作をしましたね。

7月になると猛暑、大雨、例年よりも早い台風の襲来のため、楽しみにしていた「観音崎ハイク」が再三の延期となり、ついに中止となってしまいました。大変残念でしたね。

8月には「ミニクッキング」でパンケーキを焼きました。自分でつくって、みんなで食べるととっても美味しいことを発見しましたね。ボーイ隊になればキャンプ場でもっと楽しく美味しいクッキングを体験できますよ。

9月には3名のスカウトがカブ隊に上進し、残った2年目のスカウトと新入団の1名、2名でのスタートとなりました。ちょっとさみしくなったけど、2名はとっても元気、元気過ぎてリーダーがついていけないこともあるくらいです。

2020年は2名のスカウトでスタートです。昨年からリーダーに加わっていただいている、とっても優しい小嶋インストラクターと共に保護者の皆様、他隊のリーダーの皆様、団委員の皆様のご支援を頂き、新入隊者をひとりでも多く迎え、笑顔あふれるビーバー隊にしていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2020 年度 スキーキャンプ

カブ隊 隊長 村上 芳道

新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様から多大なるご支援をいただき感謝しております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回は、1月11日から1月13日に開催したスキーキャンプについて紹介します。スキーキャンプは希望者を募っての団活動ですが、今年の参加者数は、私が参加した過去3回と比較して最多の27名(CS隊13名、BS隊7名、保護者1名、指導者6名)となりました。スカウトを送り出していただいた保護者の皆様のご理解とご支援に感謝いたします。宿泊地とスキー場は、当団定宿の天狗ロッジと菅平高原スキー場(長野県上田市)です。今年は暖冬のため、スキー場へ向かう道中の積雪は非常に少なく、スキー場も一部のコースは滑走禁止の状況ではあったものの、スカウトが練習に使用する初級・中級コースのコンディションは問題なく、天候も幸い3日間を通して大きな崩れはありませんでした。

今年の部屋割りは、過去3回と比較して初の試みとなる、CS隊とBS隊を混在にした3班編成とし、各部屋にてCS隊スカウト4~5名とBS隊スカウト2~3名が共同生活をしました。学年で言うと、小学2年生から中学2年生までが寝食を共にする活動となり、縦の繋がりを太くする良い機会になったかと思えます。

スキー活動は、各スカウトの全日本スキー連盟(SAJ)保有バッジに従って、SAJ2級チャレンジ組6名、3級チャレンジ組11名、4級チャレンジ組3名へグループ分けし、各検定試験に要求されるスキー技術を磨きました。初日は、団指導者と保護者がインストラクター役を担って指導し、2日目終日と3日目午前中は菅平高原スキー学校のインストラクター3名がそれぞれの組を指導します(団指導者と保護者は、スキーレッスンのサポート役に徹します)。3日目の後半は、各級の検定試験を実施するのですが、スカウトにとっては緊張の瞬間でしょう。毎年のことですが、スカウト年代でのスキー習得スピードはとても速く、初日の滑りと3日目の検定試験での滑りは劇的に変わります。このようなシーンを見るにつけ、スカウトが興味をもったことに対し、周りはその興味を深堀できる良い環境を用意してあげることが、スカウトの能力向上に一番効果があると感じます。

今回の検定試験の結果は、4級チャレンジ組は3名全員合格、3級チャレンジ組は10名中5名合格(1名は残念ながら検定試験当日朝に宿舎で足の指を怪我して棄権)、2級チャレンジ組は滑りの技術がまだ検定試験の合格レベルに達していないというインストラクターの判断から、検定試験を取りやめて2級レッスンのみに集中しました。

合格したスカウトの皆さん、おめでとう！ 一方、今回残念な結果となった3級チャレンジ組と2級チャレンジ組は、来年の再チャレンジを待っています。私は、この「再チャレンジ」をできるかどうか、スカウトの成長にとってとても重要なことと考えます。保護者の皆様におかれましては、もしかするととても大変なこともかもしれませんが、スカウトの気持ちを「再チャレンジ」へ向かわせることにご助力いただけますと幸いです。是非また来年菅平高原スキー場で一緒に「再チャレンジ」できることを楽しみにしています。

Boy Scout Press

2020年冬

三指

2019年9月から12月までの活動を御報告いたします。

2019年 9月 7～8日 月の輪 一泊キャンプ@教会

8日午後の上進式を前に、2020年度にボーイ隊に上進するスカウト（月の輪）6名 全員参加により、教会にて一泊キャンプを行いました。

テント設営、飯盒炊飯を行うとともに、ボーイスカウトの「ちかい」と「おきて」について隊長やリーダーから話を聞き、ボーイスカウトに上進するにあたっての気持ちを新たにしました。

9月 8日 入団式・上進式

9月 14～16日 地区グリーンバートレーニングキャンプ

松村君、竿田君、福田君の3名が2泊3日にて開催されたつばさ地区主催グリーンバートレーニングキャンプに参加しました。

「グリーンバー」とは班長および次長のことで、ボーイ隊の班の中心となるスカウトをいいます。

他団の同世代スカウトとともにボーイ隊の「班活動」について講義や実務を通じて学びました。

9月 23日 JCCS 集会@渋谷教会

9月 29日 班編成発表・基本動作

10月 6日 赤い羽根共同募金

10月 13日 結索（台風のため中止）

10月 27日 地区合同隊集会@大森平和の森公園

つばさ地区のボーイ隊が合同で行う隊集会に参加しました。内容は結索を使った様々なゲームを通じて各班が結索技術を競うというものでした。

当団は大健闘し、全17班中5位という素晴らしい成績でした。



11月 10日 一泊キャンプ・クリスマス会 計画/死者の月のミサ

11月 17日 教会バサー

12月 1日 クリスマス会 出し物 計画

12月 14～15日 一泊キャンプ@教会

夏とは違って寒い中での一泊キャンプとなりました。この時期にテントで過ごすというのも、スカウトにとっては良い経験になったと思います。

15日 クリスマス会

12月 24日 クリスマスミサ

本年もボーイ隊の活動にご理解とご協力をお願い致します。

弥栄
隊長 藤本 利一

* ご質問やご要望などございましたら、どのようなことでも構いませんので、藤本までご連絡ください。

「黄と緑」へご投稿のお誘い

「黄と緑」は大田第6団の機関誌として年に4回発行しています。各隊隊長による活動報告が中心になっていますが、ボーイスカウト活動に関心のある保護者やOBの方の投稿も大歓迎です。日頃の集会に対する感想、ボーイスカウト活動への思いなどをお寄せいただければ幸いです。



世界のスカウトー日本連盟ー東京連盟ーJCCS

《今後の予定》

2月11日	JCCS BP祭	[東京カテドラル]
4月12日	復活祭	[田園調布教会]
4月19日	団ハイク	ー場所は未定ー
8月20日～23日	70周年記念 団キャンプ	[みずがき山グリーンロッジ]

《編集後記》

あけましておめでとうございます。

本年もボーイスカウト活動へのご理解と「黄と緑」へのご支援をよろしくお願いいたします。今年の元旦は東の空に厚い雲があって初日の出を拝むことはできませんでしたが日中は暖かく、皆様も穏やかな新年を迎えられたことと存じます。

団委員長の記事にもありますが、56年ぶり二回目のオリンピックが東京で開催されます今年、当団は創立70周年を迎えます。皆様のご健康とスカウトたちが元気に成長していきますようお祈りいたします。

「黄と緑」の次号は4月12日、復活祭の日に発行の予定です。(谷岡 記)

(表紙題字：石原 一、 タイトルの「黄」は教会を、「緑」は平和を表しています)